

第79回滋賀国体開催に向けて、長浜市で水球競技の開催と室内プールの建設賛同署名のお願い

2024年に第79回滋賀国体が開催されることが内定しました。滋賀県で2回目となるこの国体が、滋賀らしさあふれる素晴らしい大会にできるように、また、国体開催を契機に滋賀の活力を一層高め、将来の世代に滋賀の素晴らしさを引き継いでいけるよう、市町、関係団体、そして一人ひとりの県民の皆さんとともに、滋賀の総力をあげて、開催準備を進めております。

当長浜市でも湖北の核として、湖北の地域の活性化と健康増進のきっかけにしなければなりません。昭和56年に、びわこ国体が開催され、水球競技が旧長浜市民プールで開かれ、市民の熱い声援を受け長浜商工高等学校が見事、全国制覇の偉業を成し遂げ、その後、1984年に開催されたロサンゼルスオリンピックをはじめ、数多くの選手が日本代表として国際大会に出場しています。それまで、全く長浜市では水球には縁がなく、すべてゼロからの出発であり、長浜北星高等学校水泳部と長浜水泳協会が中心となり、長浜市のご協力をいただきながら、着実な努力を積み重ねて来ました。それから35年、皆様方の温かいご支援のもと、しっかりと長浜の地に水球が根付き、近畿ではいつもトップレベルの力を維持してきました。

2回目の国体開催が単なるお祭り騒ぎで終わるのではなく、もっと大切なことは少子高齢化社会を見据え、将来にわたり、湖北地区全体の活性化と、スポーツを通して、子どもたちからお年寄りまでの健康増進に役立てなければなりません。湖北には誰でも気軽に水泳が楽しめ、健康増進のための設備が整った公営の室内温水プールがありません。また、小中学校の水泳の授業でも、学校プールよりも室内プールの方が安全安心であり、しっかりした専門家の指導が受けられると共に、何より大幅な経費削減が見込めます。国体の開催を契機に湖北地域すべての市民に年間通して利用いただける室内温水プールの建設を皆様方と一緒にお願いしたいと思っております。多くの方々のご支援をいただき、水球競技が長浜市で開催されれば、これまで湖北で長きにわたって培ってきた人脈を生かし、他県から称賛される大会にしたいと水泳関係者は意気込んでおります。

第79回滋賀国体開催に向けて、長浜市で水球競技の開催と室内温水プール建設の趣旨にご賛同いただき署名をよろしくご願ひいたします。

平成26年 9月

発起人

長浜水泳協会	名誉会長	橋本 忠
	会長	竹本 直隆
	水球委員長	藤田 悦司
米原市水泳連盟	会長	瀬戸川 恒雄
	副会長	春日 敬三
滋賀県水泳連盟	水球委員長	成田 新治
長浜北星高等学校	水球後援会会長	小澤 忠良
長浜北星高等学校	水球OB会会長	徳田 富生

